



# 地震あんしんカルテ

我が家に設置した地震計からデータを収集・解析し、地震が発生した後の建物の健全性を評価します。

【地震発生時刻】2016年12月28日 21時38分頃 【震源地】茨城県北部 【マグニチュード】6.3 (深さ11km)

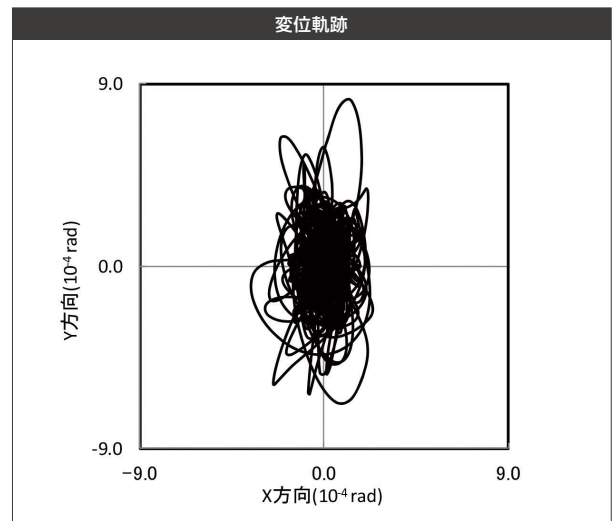
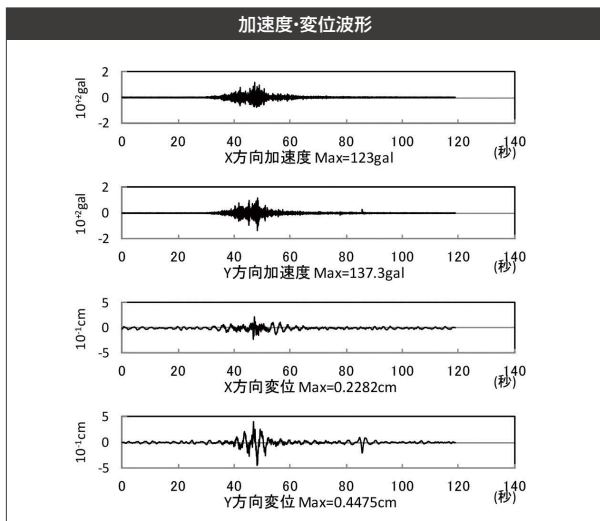
観測地点 茨城県つくば市 設置建物 鉄骨造 2階 / 2階建て

建物健全性評価: **健全** 震度: **4** 計測震度: **4.1**

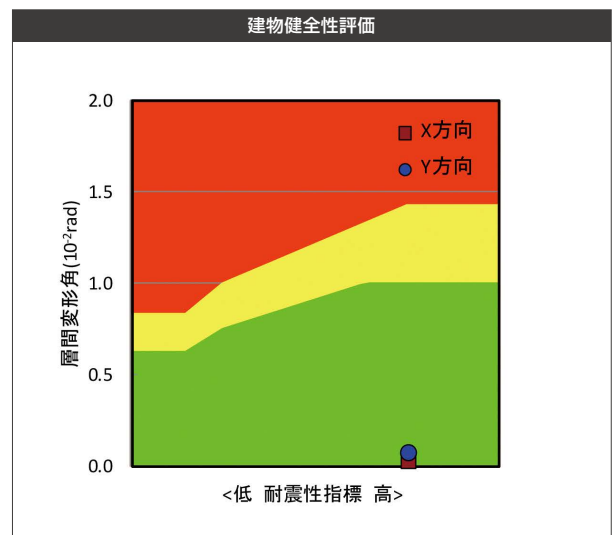
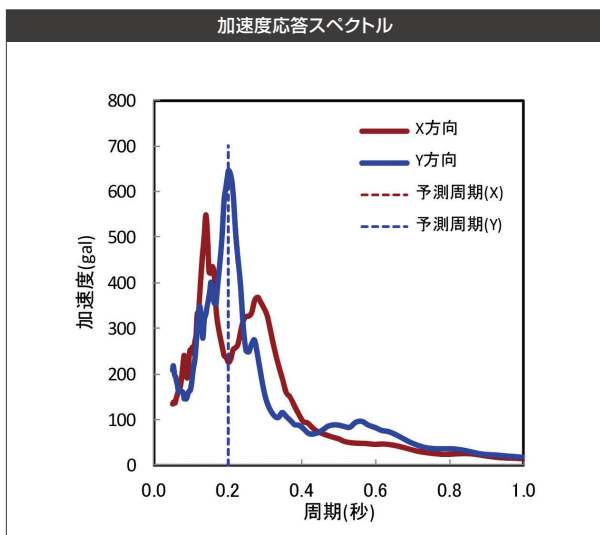
観測値から推定される固有周期は両方向とも0.2秒で、同規模の建物とほぼ同等です。層間変形角は小さく、健全と判定されます。

※建物健全性評価は、計測したデータを基に独自で算出したものであり、建物の健全性の目安を示すものです。当カルテをご利用になったことにより生じるいかなる損害についても、一切責任を負いません。

## 1 計測結果 計測したデータから建物の揺れの大きさや軌跡がわかります。



## 2 解析結果 解析結果から建物の健全性がわかります。



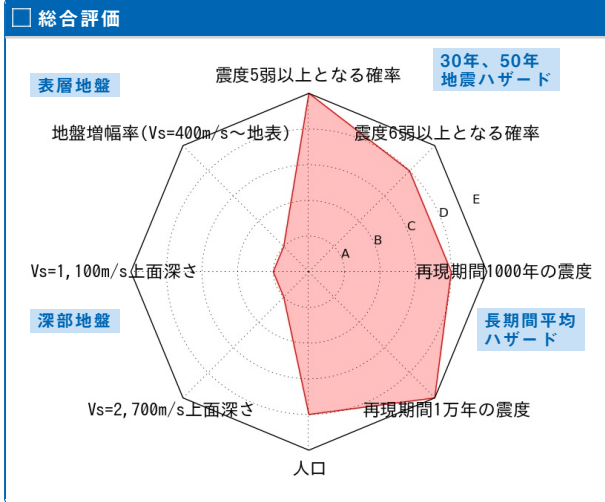
③ 地震ハザードカルテ 将来想定される地震の震度や地盤の揺れやすさなど、地震による危険度がわかります。

30年地震ハザード 今後30年間に震度6弱の揺れに見舞われる確率 **12.6%【ランク:D やや高め】** 表層地盤増幅率 地表面近くに堆積した地層の地震時の揺れやすさ **0.94【ランク:A 低め】**



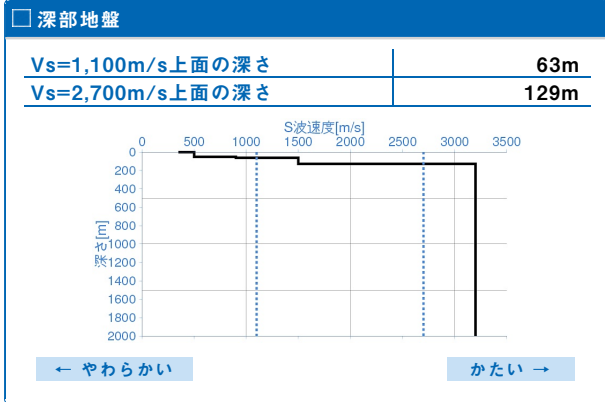
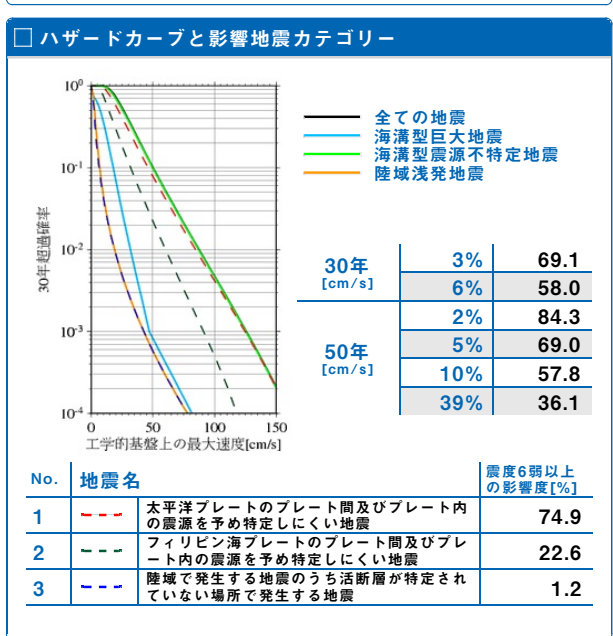
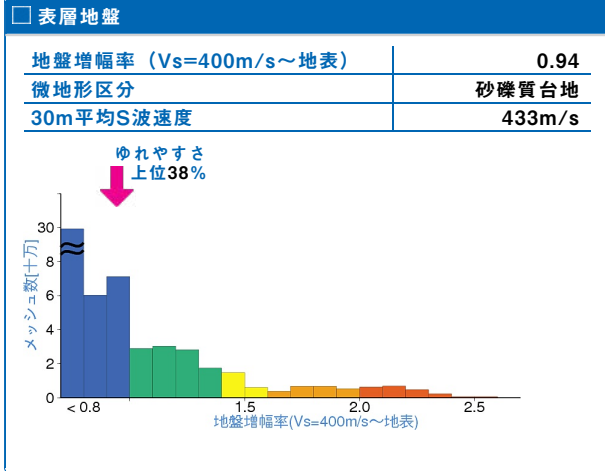
地震ハザードカルテ 2016年版

	メッシュコード	中心緯度、経度	住所	標高	メッシュ内人口
	観測地点記載の通り			20m	200~250人



30年、50年地震ハザード

超過確率の値[%] 今後30年間にある震度以上の揺れに見舞われる確率の値です。	30年	震度5弱	96.5
		震度5強	57.8
		震度6弱	12.6
		震度6強	0.8
震度の値 今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる震度の値です。	30年	3%	6弱
		6%	6弱
	50年	2%	6弱
		5%	6弱
地表面の最大速度の値[cm/s] 今後30年または50年間にある値以上の確率で見舞われる地表面の最大速度の値です。	30年	3%	64.7
		6%	54.3
	50年	2%	78.8
		5%	64.5
		10%	54.0
		39%	33.7



長期間平均ハザード

震度の値 長期間の再現期間に対応する震度の値です。	500年相当	6弱
	1000年相当	6弱
	5000年相当	6強
	1万年相当	6強
	5万年相当	6強
	10万年相当	6強

<参考文献> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所、地震ハザードカルテ2016年版 <http://www.j-shis.bosai.go.jp/labs/karte/> (2017-1-12)